

令和5年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

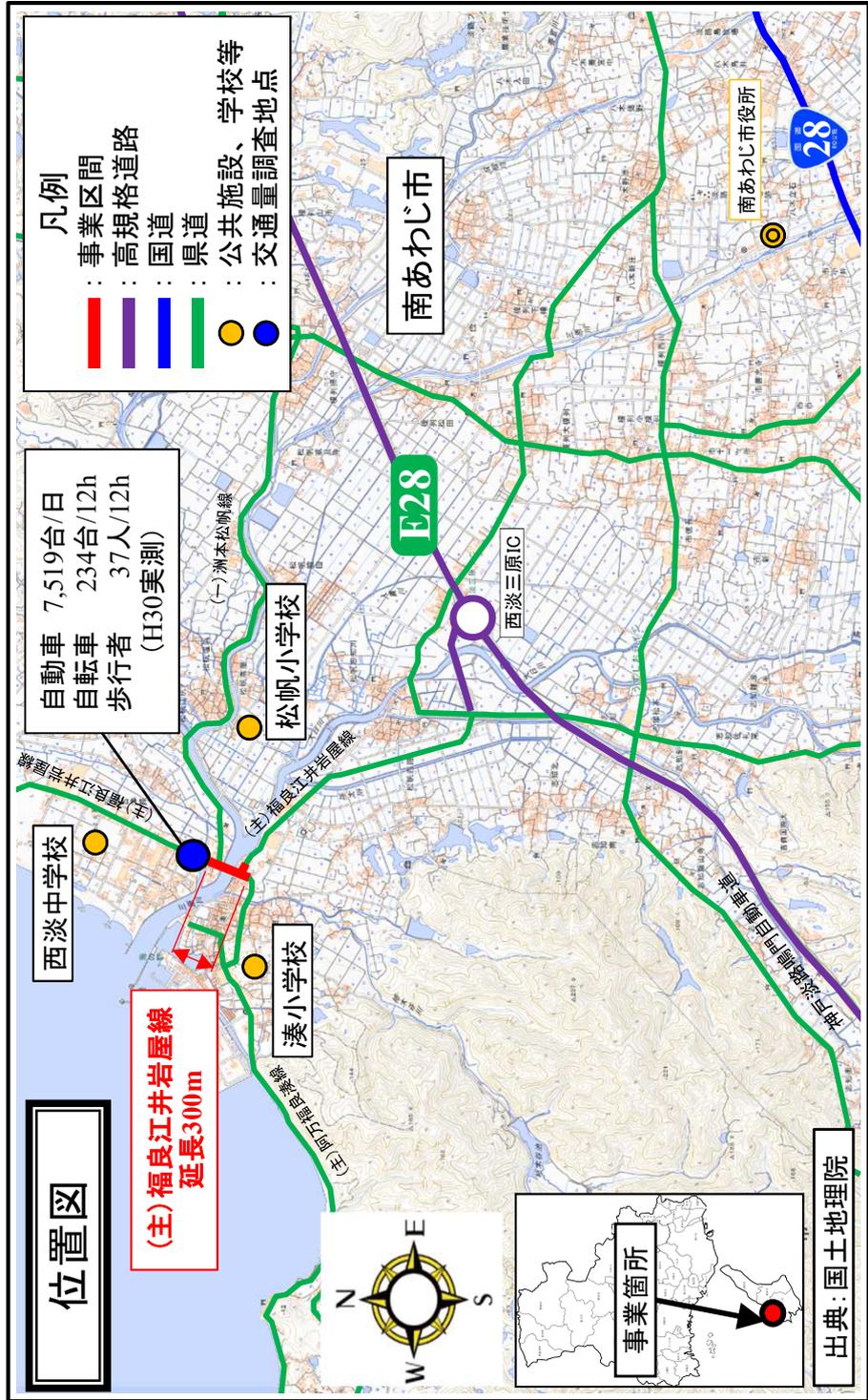
部課室名	土木部 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 志茂 大輔 (県道班長 勝山 賢一)	内線	4362 (4376)
事業種目	交通安全 施設事業	新規評価年度	平成20(2008)年度	現計画	前回評価時点
事業名	主要地方道 福良江井岩屋線 (湊I)	事業採択年度	平成21(2009)年度	総事業費	16億円
		着工年度	平成22(2010)年度	内地補償費	8.0億円
		再評価年度	平成30(2018)年度	完成予定年度	令和7 (2025)年度
事業区間	南あわじ市湊 ^{みなと} ～松帆 ^{まつほ} 古津路 ^{こつろ}	進捗率 (用補進捗率)	94% (97%)	75% (85%)	
		残事業費	1億円	4億円	
事業の目的			事業内容		
<p>○渋滞交差点の解消 湊交差点は、朝夕の時間帯を中心に交通渋滞が発生している。そのため、右折レーンを設置するなど交差点の改良を行い、渋滞の解消を図る。</p> <p>○歩行者・自転車利用者の安全確保 当事業箇所は、歩道や路肩の幅員が狭く、自転車が歩道を通るなど、歩行者・自転車が輻輳し危険な状態にある。そのため、交差点改良に合わせて歩道及び路肩を拡幅し、適正な歩行・自転車通行空間を整備することで、歩行者・自転車利用者の安全を確保する。</p>			<p>【延長】 300m 【構造規格】 第3種第2級 【計画幅員】 車道9.5m〔全幅18.0m〕 【現況交通量】 自動車：7,519台/日〔H30実測〕 自転車：234台/12h〔H30実測〕 歩行者：37人/12h〔H30実測〕 【費用負担割合】 国：55%、県：45%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	<p>本事業区間は、淡路島を1周するサイクリングコースとして「アライ」の一部を構成しており、近年サイクリストが増加している。令和元年度には「淡路地域モデルルート推進協議会」において、アライをひょうごサイクリングモデルルートに設定した。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ①御原橋北詰交差点北側の一部で用地交渉が難航していることから、完成予定年度を令和7年度に変更する。</p>				
進捗状況	<p>①御原橋北詰交差点から南側240mは工事を完了している（R3.3）。 ②御原橋北詰交差点から北側の用地買収・物件補償を推進し、工事を実施する。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び 対応方針 (H30年度再評価)	【審査会意見】 継続妥当	【対応方針】			—
(1) 必要性	<p>①当該区間は、南あわじ市湊地区の中心に位置し、近隣には学校、拠点避難所に指定されている湊地区公民館、大型商業施設及び住宅が立地している。 ②湊小学校、松帆小学校の通学路及び西淡中学校の通学経路であるが、歩道や路肩が狭く、自転車が歩道を走行するなど、歩行者・自転車が輻輳し危険である。 ③湊交差点は工事が完了し渋滞が解消した（R3.3）。一方、御原橋北詰交差点は北側が未施工のため、交差点の南北で幅員が異なる変則交差点となっており、交差点内で南進車両の動線がシフトする危険な状態である。</p>				
(2) 有効性 ・効率性 (執行環境状況)	<p>①歩行者と自転車の適正な通行空間の確保により、双方の安全が確保される。 ②南あわじ市や地元住民からも早期整備を望む強い要望がある。</p>				
(3) 環境適合性	①歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。				
(4) 優先性	<p>①中学生の自転車利用が多く、また南あわじ市の「通学路交通安全プログラム」に歩道整備が位置づけられているため、早期整備を行い自転車・歩行者の安全を確保する。 ②御原橋北詰交差点より南側240mは工事を完了しており、後は同交差点北側の取付部分60mを残すのみであることから、早期に事業を完了させる必要がある。</p>				
再評価 の結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時と変わっておらず、南あわじ市の「通学路交通安全プログラム」に本事業が位置付けられており、継続して事業を実施する必要がある。		

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第2回〕）

事業名	交通安全施設等整備事業	路線名	(主) 福良江井岩屋線 (湊I)
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="188 197 384 302" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">位置図</div> <div data-bbox="1268 201 1428 369" style="text-align: center;"> </div> </div> <div data-bbox="183 840 391 1153" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事業箇所</p> </div> <div data-bbox="183 1164 462 1220" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">出典: 国土地理院</div> <div data-bbox="1013 1030 1428 1209" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">凡例</p> <p>— : 事業区間</p> <p>— : 県道</p> <p>● : 公共施設、学校等</p> </div>			
事業進捗状況・予定		整備効果	
<p>全体 H22(2010) ～ R7(2025)</p>	<p>【事業費＝16億円】 延長 300m 用地取得面積：約 2,200m² 物件補償件数：22件</p>	<p>用地難航箇所の買収が完了し、御原橋拡幅工事に着手可能となった。</p>	
<p>前回再評価 まで (実績)</p>	<p>【事業費＝12億円】 ①事業進捗率 75% ②用地補償進捗率 85% ・平成30年度 末御原橋下部工完成 ・平成30年度 御原橋上部工に着手</p>		
<p>過去 5年間 H31(2019) ～ R5(2023)</p>	<p>【事業費＝3億円】 ①事業進捗率 94% ②用地補償進捗率 97% ・令和元年度 御原橋上部工完成 ・令和6年度 湊交差点の交差点改良工事完成</p>	<p>湊交差点の渋滞が解消されるとともに、歩行者・自転車の安全が確保できた。</p>	
<p>今後2年間 (予定) R6(2024) ～ R7(2025)</p>	<p>【事業費＝1億円】 ・令和6年度 残区間の用地買収・物件補償 ・令和7年度 残区間の道路改良、右折レーン設置</p>		

交通安全施設等整備事業 (主) 福良江井岩屋線 (連続: 再評価 [第2回])

位置図



目的

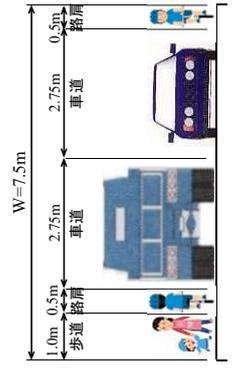
- ① 渋滞交差点の解消
- ② 歩行者・自転車利用者の安全確保

事業概要

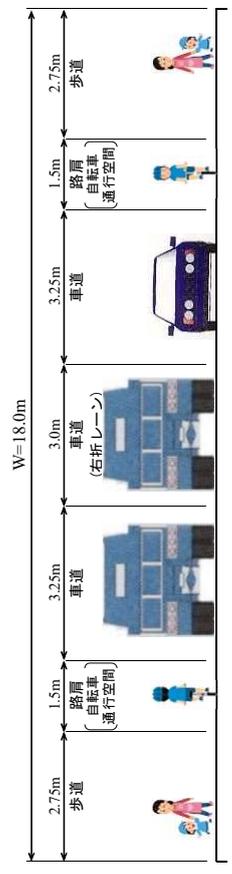
事業区間: 南あわじ市湊 ~ 松帆古津路

事業費: 16億円
 内用地補償費: 8億円
 事業期間: H21~R7
 事業概要: 交差点改良
 延長: 300m

横断面



計画



事業の必要性

- ①当該区間は、南あわじ市湊地区の中心に位置し、近隣には学校、拠点避難所に指定されている湊地区公民館、大型商業施設及び住宅が立地している。
- ②湊小学校、松帆小学校の通学経路であるが、歩道や路肩が狭く、自転車が歩道を走行するなど、歩行者・自転車が輻輳し危険である

平面図

凡例

- : 事業区間
- : 県道
- : 公共施設、学校等
- : 交通量調査地点



整備前状況

①渋滞の発生状況



②路肩が狭く通学自転車が危険

